

2009 嶺南物流・サプライチェーンマネジメントフォーラムでの挨拶

広東省経済貿易委員会副主任 戚真理

2009年3月26日

尊敬する中山大学喻世友^{yùshìyǒu}副校長、日本国城西大学村井隆顧問、野澤建次副校長、中国物流・購買^{dài}連合会戴会長、ご来場の皆様：

皆様、こんにちは！中日両国の物流業界の専門家らが美しい中山大学に集まり、物流とサプライチェーンマネジメントについて議論したり、意見を交換したりすることは大変有意義なことです。私は、広東省経済貿易委員会を代表し、皆様のご来場に対して心から感謝を申し上げます。また、“中山大学嶺南学院と城西大学物流・サプライチェーンマネジメント研究所”の創立に対して心よりお祝いを申し上げます。

近年、広東省政府は現代物流の発展に対して大変重視してきました。国務院が許可してくれた「珠江デルタ地域改革発展計画綱要」、共産党広東省委員会・省政府が制定した「現代産業体系の構築を加速することに関する決定」、「現代サービス業の発展を加速することに関する意見」などの通達においては、現代物流産業を大いに発展させることを明確に記しています。^{wāngyáng}汪洋書記、^{tóngxīng}佟星副省長も数回にわたって、現代物流産業を発展させることに対して重要な講話をしてくれました。とりわけ、最近正式に策定された「物流産業の調整および振興の計画」は、我が省における物流産業の発展に対して新たな起爆剤（原動力）となっています。

これから、「現代物流企業の高新技術企業への申し込みに関する指導」、「現代物流の統計方法」および「省・市における現代物流産業の共同構築」など一連の重要な政策を発表する予定です。また、今年度中に広東省現代物流研究院も創立されます。さらに、「広東省物流産業の調整および振興の計画」が年末に正式に発表されます。これらの新しい政策の実施は、広東省における現代物流産業の発展を大いに推進してくれるだろうと信じています。

最近、金融危機による実体経済への悪影響によって、物流の需要が徐々に減少しており、物

流産業において供給が需要より過剰となっています。物流企業が利潤率の低下や赤字経営の難局に直面していると聴きます。このような環境のなかで、物流企業が経営戦略を適宜に調整し、危機を新たなチャンスに変え、構造調整を進め、業界全体の整合を推進しなければなりません。また、遅れた物流方式を淘汰させ、企業同士の買収再編を促進し、現代物流技術を広げなければなりません。物流企業が上記のような工夫をして、生き残りの方法を探り、さらに業界のトップ企業や中堅企業に目指すように図って行き、新しい飛躍において大きく、強くなってほしいです。

物流産業は製造業と緊密な関係を有しています。製造業は物流産業を牽引する役割がある一方、物流産業は製造業を支える役割をしています。目前、製造業への圧力が絶大ですが、物流分野におけるコスト削減は製造業への圧力を緩和させる重要な手段です。しかし、今回の世界的な金融危機によって、製造業への巨大なコスト圧力が物流分野のコスト削減のみによって解消できる問題ではありません。サプライチェーンマネジメント全体における運営効率の向上、サプライチェーンのコスト削減は問題解決の鍵となります。そこで、私の切望ではありますが、今日創立された“中山大学嶺南学院と城西大学物流・サプライチェーンマネジメント研究所”が物流およびサプライチェーンマネジメントの研究領域において大きな研究成果を創り出し、我が省の物流産業と製造業の発展に大いに貢献してほしいです。期待しております。

皆様、今日のフォーラムは議論の内容が豊富で、議論のテーマが実務的となっています。特に、日本から来られた方々が我々に日本の現代物流とサプライチェーンマネジメントの良い経験を紹介してくれます。本当に貴重な勉強の機会です。発表者が言いたいことを思う存分言ってほしいし、聴いている方が外部の経験に耳を傾けて、我が省の実際に役立てるように勉強してほしいです。広東省が世界の一流の物流センターになるために頑張りましょう。

最後になりますが、大会が円満に成功することを祈ります！どうもありがとうございます！